

令和6年  
2024年

11月12日  
火曜日

第11593号

# 食肉速報

— THE DAILY MEAT NEWS —

昭和51年5月19日  
第三種郵便物認可

購読料 (前納)  
年間 82,080円  
(税込み)  
6カ月 42,120円  
(税込み)

本紙は関連企業・団体との  
タイアップ企画記事を含みます

【発行所】株式会社食肉通信社  
<https://www.shokuniku.co.jp/>

東京支社  
〒103-0001 東京都中央区日本橋小伝馬町18-1  
TEL03-3663-2011 FAX03-3663-2015

大阪本社  
〒550-0005 大阪市西区西本町3-1-48  
TEL06-6538-5505 FAX06-6538-5510

九州支局  
〒812-0029 福岡市博多区古門戸町3-12  
TEL092-271-7816 FAX092-291-2995



京都府食肉業卸組合がセミナーを開催した……P4

CONTENTS

- ▶ [全国の食肉推定在庫・9月] 全在庫は前年同月比1・9%増…………… P 2
- ▶ 第二次石破内閣が発足、新農水大臣に江藤拓氏を起用…………… P 3
- ▶ 小里泰弘農水大臣が退任会見、「今後も政治の道を見据える」…………… P 3
- ▶ [調理食品支出金額・9月] 合計1万2519円で2・0%増…………… P 3
- ▶ 京都府食肉業卸組合が牛枝肉処理技術指導者育成セミナー開催…………… P 4
- ▶ 宮城県石巻市で鳥フル、約17万羽が羽殺処分—農水省…………… P 4
- ▶ 全肉連がイベント開催、食育推進と国産食肉消費喚起に向け…………… P 5
- ▶ 全肉連が加工研修会の参加者募集中、静岡で来年1月開催へ…………… P 5
- ▶ [鶏肉調製品輸入9月] 計3万9880tで2・3%減…………… P 6
- ▶ [ソーセージ輸入9月] 計2104tで1・7%増…………… P 6
- ▶ 中国、養豚業界で進む変革、大企業の挑戦と零細企業の淘汰が進む…………… P 7
- ▶ フィード・ワンが2025年3月期第2四半期決算を発表…………… P 7
- ▶ 【輸入副生物現物相場11月見通し】…………… P 8
- ▶ セイコーエプソン、深度カメラを用いた「牛の体型指標評価システム」開発…………… P 8
- ▶ [資料]日本食肉流通センター週間市況…………… P 9
- ▶ [東京・大阪枝肉相場、全国と畜頭数] 11日…………… P 10
- ▶ [各地の豚枝肉、豚部分肉、食鳥相場] 11日…………… P 11

## 注目のヘッドライン

**【全国の食肉推定在庫・9月】 全在庫は前年同月比1・9%増**

農畜産業振興機構が、2024年9月分の食肉等の推定月末在庫を公表した。

…詳細はP2

**第二次石破内閣が発足、新農水大臣に江藤拓氏を起用**

…詳細はP3



**Nipponham Group**  
たんぱく質を、もっと自由に。

食肉施設の設計・施工・コンサルタント

— 食肉業界をリードする —



〒110-0016 東京都台東区台東4-20-5  
☎03-3834-1561(代) <https://hanaki-eng.co.jp/>

**【全国の食肉推定在庫・9月】 全在庫は前年同月比 1・9%増**

農畜産業振興機構が公表した2024年9月分の食肉等の推定月末在庫によると、全在庫は62万439t（前年同月比1・9%増）と前年同月を上回り、前月比では0・1%増となった。

畜種別では牛肉の輸入在庫が14万4550t（0・8%増）で、前月からは1・9%減。国産在庫は1万1298t（12・4%減）で減少となり、前月比では3・0%増となった。牛肉全体の推定在庫は15万5848t（0・3%減）で前年割れとなり、前月からも1・5%減となっている。

豚肉は輸入在庫が20万1197t（1・1%減）と減

り、前月比では0・5%増となった。国産在庫は2万1580t（0・6%増）となり、前月からは2・4%減。豚肉全体の推定在庫は22万2777t（1・0%減）と前年を下回り、前月からは0・2%増となった。

また、鶏肉の輸入在庫は13万6518t（3・0%増）と増え、前月比では1・0%減。国産在庫は3万3154t（10・3%増）と増加し、前月比では5・5%減となった。鶏肉全体の推定在庫は16万9672t（4・4%増）と前年を上回ったが、前月比では1・9%減となっている。

[令和6年9月の食肉の推定在庫]

単位：t、比率%

区分		5月	6月	7月	8月	9月	対前月比	対前年比	
牛	全在庫	159,374	166,146	176,302	179,485	180,245	100.4	103.0	
	冷凍品	142,028	147,188	155,742	161,482	161,887	100.3	104.0	
	冷蔵品	17,346	18,958	20,560	18,003	18,358	102.0	94.9	
	未通関計	18,107	18,917	24,304	21,231	24,397	114.9	131.1	
	推定期末在庫	141,267	147,229	151,998	158,254	155,848	98.5	99.7	
	冷凍品	124,115	128,586	132,263	140,436	138,274	98.5	100.7	
	冷蔵品	17,152	18,643	19,735	17,818	17,574	98.6	92.4	
	肉	輸入在庫計	128,998	135,344	140,727	147,288	144,550	98.1	100.8
		冷凍品	112,877	117,854	122,107	130,560	128,182	98.2	102.1
		冷蔵品	16,121	17,490	18,620	16,728	16,368	97.8	91.4
国産在庫計		12,269	11,885	11,271	10,966	11,298	103.0	87.6	
冷凍品		11,238	10,732	10,156	9,876	10,092	102.2	85.7	
冷蔵品		1,031	1,153	1,115	1,090	1,206	110.6	107.1	
豚	全在庫	227,789	231,853	233,671	235,901	238,323	101.0	99.5	
	冷凍品	212,030	216,348	218,940	222,393	223,324	100.4	97.7	
	冷蔵品	15,759	15,505	14,731	13,508	14,999	111.0	137.5	
	未通関計	13,625	13,947	14,915	13,503	15,546	115.1	106.3	
	推定期末在庫	214,164	217,906	218,756	222,398	222,777	100.2	99.0	
	冷凍品	198,572	202,584	204,749	209,150	208,521	99.7	97.2	
	冷蔵品	15,592	15,322	14,007	13,248	14,256	107.6	135.7	
	肉	輸入在庫計	189,925	193,156	195,529	200,290	201,197	100.5	98.9
		冷凍品	174,788	178,581	182,019	187,331	187,468	100.1	96.6
		冷蔵品	15,137	14,575	13,510	12,959	13,729	105.9	145.1
国産在庫計		24,239	24,750	23,227	22,108	21,580	97.6	100.6	
冷凍品		23,784	24,003	22,730	21,819	21,053	96.5	103.2	
冷蔵品		455	747	497	289	527	182.4	50.4	
鶏	全在庫	174,517	176,368	174,544	178,831	176,434	98.7	104.3	
	未通関計	7,213	6,594	5,482	5,796	6,762	116.7	101.8	
	推定期末在庫	167,304	169,774	169,062	173,035	169,672	98.1	104.4	
	肉	内訳	輸入物	131,041	133,066	133,594	137,941	136,518	99.0
国産物		36,263	36,708	35,468	35,094	33,154	94.5	110.3	
羊	全在庫	4,903	5,167	5,516	5,100	4,823	94.6	106.2	
	未通関計	289	399	419	373	402	107.8	201.0	
	推定期末在庫	4,614	4,768	5,097	4,727	4,421	93.5	101.8	
	肉	内訳	輸入物	4,441	4,601	4,942	4,573	4,288	93.8
国産物		173	167	155	154	133	86.4	260.8	
その他	全在庫	20,142	20,644	20,623	20,456	20,614	100.8	98.9	
	未通関計	377	387	492	420	554	131.9	101.7	
	推定期末在庫	19,765	20,257	20,131	20,036	20,060	100.1	98.8	

## 第二次石破内閣が発足、新農水大臣に江藤拓氏を起用

自民党の石破茂総裁は11日召集の特別国会で第103代首相に選出され、第2次石破内閣を発足。農水大臣に、新たに江藤拓氏が就任した。なお、江藤氏は、安倍内閣時に農水大臣を務めており、再起用となる。経歴は次のとおり。

江藤拓(昭和35年7月1日生まれ、宮崎県出身)。宮崎県立宮崎西高等学校を卒業後、1985年に成城大学経済学部を卒業。

2003年の衆議院議員総選挙で、宮崎県2区から無所属で立候補し、初当選。07年に自民党農林部会長代理を務めた後、農林水産大臣政務官、自民党農

林部会長、農林水産副大臣を歴任。

17年10月には、衆議院議員選挙で6期目の当選を果たし、19年9月、安倍内閣で農水大臣を務めた。



このほか、自民党鳥インフルエンザ対策本部部長、一般(社)家畜商協会の会長なども務めている。

## 小里泰弘農水大臣が退任会見、「今後も政治の道を見据える」

小里泰弘農水大臣は11日、退任会見を行った。

会見冒頭、「短い期間であったけれども、おかげさまで印象深い仕事をさせていただいた」とあいさつをした後、次期農水大臣の就任が予定されている江藤拓氏について「自民党の農林部会を中心に長年指導いただいた立場である。内外ともに認める、農政の中

核にあつて、農林関係議員の中核として指導いただいた経験豊富な江藤拓先生である。心から期待を申し上げている。私もさらに安心してお任せできる期待をもっている」と述べた。

また、今後の活動について、「武者修行だと思っている。当然、政治の道を見据えていきたい」と示した。

## 【調理食品支出金額・9月】 合計1万2519円で2・0%増

総務省家計調査(既報)によると、9月の調理食品支出金額は1万2519円(前年同月比2・0%増)と増加した。

弁当や調理パンなどの主食的調理食品の支出金額は5436円(1・1%増)と増加。他の調理食品も7083円(2・7%増)と前年を上回り、このうちハンバーグは139円(13・9%増)、カツレツは190円(4・4%増)、シューマイは106円(15・2%増)、冷凍調理食品は901円(1・8%増)と増加したが、ギョーザは157円(4・8%減)、天ぷら・フライは1044円(6・6%減)で減少となった。焼き鳥は226円、コロッケは188円で前年並みだった。

調理食品支出金額

調理食品	7月		8月		9月	
	金額	前年同月比	金額	前年同月比	金額	前年同月比
調理食品	13,291	100.7	13,734	104.2	12,519	102.0
主食的調理食品	5,587	101.3	6,359	107.5	5,436	101.1
弁当	1,662	103.9	1,748	110.8	1,575	103.3
すし(弁当)	1,181	98.5	1,521	106.7	1,207	98.5
おにぎり・その他	523	101.6	581	99.0	525	104.4
調理パン	591	104.6	637	108.1	577	104.0
他の主食的調理食品	1,628	99.7	1,873	107.8	1,552	98.9
他の調理食品	7,704	100.2	7,374	101.6	7,083	102.7
うなぎのかば焼き	858	90.6	296	110.4	146	109.0
サラダ	525	106.3	572	104.6	568	106.6
コロッケ	184	107.0	179	102.3	188	100.0
カツレツ	190	90.0	190	96.9	190	104.4
天ぷら・フライ	1,095	100.5	1,172	99.7	1,044	93.4
シューマイ	116	117.2	90	87.4	106	115.2
ギョーザ	152	97.4	176	104.8	157	95.2
焼き鳥	251	98.4	285	105.2	226	100.0
ハンバーグ	141	101.4	141	102.9	139	113.9
冷凍調理食品	988	107.4	842	100.6	901	101.8
総菜材料セット	303	104.1	211	75.4	288	90.9
他の調理食品のその他	2,901	99.6	3,220	103.7	3,129	106.6

資料:総務省「家計調査報告(全国・全世帯1世帯あたり品目別)」

## 京都府食肉業卸組合が牛枝肉処理技術指導者育成セミナー開催

京都府食肉業務用卸協同組合(吉岡浩人理事長=写真)は9日、京都市南区の京都市中央食肉市場と(株)モリタ屋で令和6年度人材育成事業として牛枝肉処理技術指導者育成セミナーを開催。セミナーには組合加盟企業の若手従業員が中心に参加した。

京都市場セミナールームでは、京都食肉市場(株)の宮田典幸社長が「京都食肉市場の現在の取り組みと今後の未来について」、公益(社)日本食肉格付協会近畿・中・四国支所京都事業所の神山洋所長が「脂肪酸測定についての基礎知識」と題した講演を行ったほか、モリタ屋プロセスセンターでは枝肉処理技術研修が行われた。

冒頭、吉岡理事長は「われわれは食肉の卸売事業を行っており、牛の命をいただいて販売している。牛には当然、枝肉や内臓にさまざまな部位があるが、食肉販売する中であまりみなくなった枝肉が基本中の基本。それをきっちり学んでいただくことにより販売促進にも生かせる。本日は2人の講師にご講演いただくが、しっかりと研修していただきたい」とあいさつ。

来賓紹介に続き宮田社長が講演を行った。宮田社長は自身の略歴を披露した後、京都食肉市場の沿革や中央市場の役割について説明したほか、同市場の事業内容および昨年度の取扱実績などを解説。また、同市場が展開する「京都市場ブランド」に触れ、「国際基準の衛生管理体制を備えており、肉牛を全国各地から集荷している。生産者、買参者との関係性を強固なものとし、中央市場では珍しく集荷、と畜、加工、販売の全てを行う。従業員全員が定期的に研修を実施しており、高いレベルで意識を共有している」と強調した。

また、「拡大している輸出事業はタイ、マカオ、シンガポールから始まり、当初は月間2~3頭ほどからスタートしたが、その後、香港や米国、EUにも現在は



100頭ほどに増えており、と畜頭数の約10%を占める。年間輸出額は10億7千万円ほど。日本の和牛を世界の皆さまに知っていただき、日本の和牛文化や生産現場を支えたい。また、当社では生産者を守るため、24時間365日、電話をいただければ2時間ほどで対応できる『緊急と畜』に取り組んでいる。さらに生産者の肥育ストーリーを把握し付加価値を高めて販売するよう努めている。今後もひた向きに生産者、買参者、行政との関係を密にし、安全・安心でおいしい食肉供給に努めたい」とまとめた。

神山所長は脂肪の質の評価とおいしさの関係性に触れた後、脂肪酸について説明。「脂肪酸には炭素と炭素の結合が1本のもの2本のものがあり、2本の結合があるものを二重結合という。二重結合がない脂肪酸を飽和脂肪酸(SFA)、あるものを不飽和脂肪酸といい、その中でさらに二重結合が一つである一価不飽和脂肪酸(MUFA)と二重結合が二つ以上の多価不飽和脂肪酸(PUFA)がある」と述べ、牛脂の主な構成脂肪酸と融点の関連を示した。また、脂肪質の評価方法や脂肪酸測定装置の仕組みなどについても詳細に解説した。質疑応答に続き、昼食後はモリタ屋プロセスセンターに移動し枝肉処理技術研修が行われた。

## 宮城県石巻市で鳥フル、約17万羽が殺処分—農水省

農水省は10日、宮城県石巻市の家禽農場で、今シーズン国内7例目となる高病原性鳥インフルエンザの疑似患畜が確認されたことを発表した。

これを受け、同農場の肉用鶏約12万4千羽、疫学関連農場(1農場)約4万8千羽が殺処分となる。

## 全肉連が東京競馬場でイベント開催、食育推進と国産食肉消費喚起に向け

全国食肉事業協同組合連合会は9～10日、令和6年度国産食肉理解促進食育実践事業の一環として、東京都府中市の東京競馬場で食育イベント「楽しく学ぼう!おいしいお肉が食卓にとどくまで」を開催した。

抽選で景品が贈られるクイズラリーでは、安全でおいしい肉を作るための検査の流れやおいしく無駄なく食べるコツなどを学べるパネルが展示され、それをヒントにして多くの参加者がクイズに挑戦。1日の中で4回に分けて行われ、1回につき125人、2日間で合計1千人の来場者が訪れ、長蛇の列を作った。合計で20人にA賞(黒毛和牛すき焼き用)、300人にB賞(国産レトルトカレー)、680人にC賞(国産のむヨーグルト)が当たり、黒毛和牛すき焼き用の当選者が出たときには特に盛り上がり



みせた。参加者に冊子を配布したほか、チラシやターフビジョンを使った告知でも注目を集め、国内畜産を応援するとともに、国産食肉の消費を喚起した。

## 全肉連が加工研修会の参加者募集中、静岡で来年1月開催へ

全国食肉事業協同組合連合会(村上幸春会長)は令和7年1月27、28日の2日間、6年度食肉流通機能強化事業の一環として、「食肉加工製造技術研修会」を静岡県富士市のグロースヴァルトSANOで開催する。現在、参加者を募集している。

この研修会は、食肉の低需要部位の有効活用により、高付加価値製品の開発、販売品目の多様化を通じて、食肉小売店の経営強化を図るもの。県肉連の組合員は誰でも参加することができ、参加費用は無料となる。

本場ドイツの加工品コンテストで多数の賞を受賞した講師陣によって行われ、基礎アイテム「ブラートヴルスト(生ソーセージ)」の製造やソーセージの充填、ひねりなどを体験できる。また、「アウフシュニット(太いソーセージ)」や「フライシュケーゼ(型入れして焼いたソーセージ)」「ウインナーソーセージ」のほか、野菜由来の発色剤を使ったソーセージの製造実演なども実施する予定だ。概要は次のとおり。



開催日時=令和7年1月27、28日(2日間)▷開催場所=グロースヴァルトSANO(静岡県富士市)▷参加対象=道府県肉連組合員▷申込受け付け=所属する道府県肉連事務局▷募集人数=20人▷募集締め切り=6年12月20日(募集締め切り前であっても定員に達し次第終了)▷問い合わせ先=全国食肉事業協同組合連合会(TEL=03<3582>1241)

## 【鶏肉調製品輸入9月】計3万9880 tで2・3%減

9月の鶏肉調製品の輸入通関実績は、計3万9880t(前年同月比2・3%減)と前年を下回った。前月から83t増加した。国別ではタイが2万2519t(11・1%

減)と減少。中国は1万6795t(12・3%増)と増加した。そのほかブラジルが56t(約9倍増)となった。

鶏肉調製品輸入の推移

単位:トン、カッコ内は前年比%

	中国	タイ	ブラジル	韓国	米国	フィリピン	合計
2021年計	175,957 (110.7)	298,879 (98.0)	1,741 (101.5)	1,287 (116.6)	201 (84.1)	24 (102.2)	480,798 (102.4)
2022年計	192,373 (109.3)	326,751 (109.3)	1,925 (110.6)	1,028 (93.3)	117 (55.8)	33 (71.4)	525,762 (109.4)
2023年計	173,673 (90.3)	297,810 (91.1)	558 (29.0)	1,201 (116.8)	100 (85.5)	0 (-)	477,983 (90.9)
2023年9月	14,957 (90.3)	25,328 (93.1)	6 (4.1)	79 (65.0)	- (-)	- (-)	40,815 (92.2)
10月	15,685 (102.6)	27,983 (99.4)	- (-)	207 (81.3)	14 (99.9)	- (-)	44,377 (100.6)
11月	18,423 (120.5)	27,345 (97.1)	- (-)	229 (89.9)	- (-)	- (-)	46,607 (105.6)
12月	16,518 (110.3)	26,952 (108.2)	139 (146.7)	102 (75.2)	14 (-)	- (-)	44,292 (109.6)
2024年1月	13,238 (110.4)	21,717 (99.7)	76 (66.7)	94 (131.7)	- (-)	- (-)	35,688 (104.1)
2月	11,064 (92.3)	22,790 (104.7)	19 (16.7)	72 (100.4)	- (-)	- (-)	34,339 (100.1)
3月	13,221 (88.9)	24,460 (96.5)	19 (100.0)	57 (118.7)	14 (-)	- (-)	38,329 (94.5)
4月	16,788 (114.1)	27,086 (109.6)	38 (100.0)	150 (385.2)	0 (-)	- (-)	44,648 (111.9)
5月	14,034 (95.4)	26,117 (105.7)	38 (99.6)	65 (167.1)	- (-)	- (-)	40,776 (102.2)
6月	15,546 (125.8)	26,467 (116.8)	19 (50.0)	23 (71.3)	14 (-)	- (-)	42,605 (107.2)
7月	19,023 (122.5)	27,823 (116.8)	94 (496.9)	33 (76.6)	- (-)	- (-)	47,452 (119.4)
8月	14,464 (99.9)	24,641 (96.7)	38 (100.0)	60 (165.2)	- (-)	- (-)	39,797 (98.6)
9月	16,795 (112.3)	22,519 (88.9)	56 (892.6)	65 (82.7)	14 (-)	- (-)	39,880 (97.7)

## 【ソーセージ輸入9月】計2104 tで1・7%増

9月のソーセージ輸入通関実績は計2104t(前年同月比1・7%増)で増加となり、前月比では247t減となった。国別ではブラジルが516t(45・4%増)、

中国が468t(0・9%増)、デンマークが83t(80・4%増)と増加したが、タイは499t(12・0%減)、米国は450t(11・2%減)で減少となった。

ソーセージ輸入量の推移

単位:トン、カッコ内前年比%

	中国	タイ	米国	ブラジル	デンマーク	合計
2021年計	6,116 (93.7)	6,610 (102.0)	7,156 (92.1)	3,679 (73.3)	1,178 (90.3)	26,790 (90.8)
2022年計	5,610 (91.7)	7,066 (106.9)	6,321 (88.3)	6,422 (174.6)	1,347 (114.3)	28,444 (106.2)
2023年計	5,104 (91.0)	6,721 (95.1)	6,470 (102.4)	4,544 (70.8)	1,230 (91.3)	25,580 (89.9)
2023年7月	404 (77.4)	634 (90.8)	582 (90.1)	509 (104.7)	135 (121.6)	2,375 (90.6)
8月	511 (113.3)	504 (90.2)	811 (129.1)	426 (82.4)	130 (146.1)	2,544 (108.7)
9月	464 (138.9)	567 (91.3)	507 (85.6)	355 (81.2)	46 (86.8)	2,068 (93.6)
10月	532 (143.8)	574 (106.7)	551 (136.0)	423 (53.4)	58 (32.2)	2,232 (92.7)
11月	377 (98.2)	558 (92.4)	504 (87.5)	281 (40.5)	145 (109.8)	2,025 (78.8)
12月	490 (82.4)	648 (113.7)	647 (146.0)	311 (46.8)	87 (87.9)	2,291 (90.7)
2024年1月	339 (93.4)	448 (89.1)	342 (65.1)	301 (81.4)	21 (16.8)	1,551 (77.4)
2月	356 (106.3)	555 (95.5)	423 (105.5)	325 (96.2)	59 (-)	1,786 (100.3)
3月	349 (100.3)	506 (79.9)	517 (142.8)	407 (132.1)	76 (140.7)	1,986 (109.7)
4月	414 (80.4)	516 (102.6)	776 (150.4)	517 (129.3)	155 (72.1)	2,539 (110.5)
5月	464 (132.2)	502 (132.8)	647 (143.8)	349 (94.3)	134 (108.1)	2,192 (125.2)
6月	401 (96.9)	490 (76.8)	632 (102.9)	516 (113.9)	72 (64.9)	2,232 (93.0)
7月	439 (108.7)	577 (91.0)	619 (106.4)	432 (84.9)	160 (118.5)	2,404 (101.2)
8月	474 (92.8)	451 (89.5)	493 (60.8)	629 (147.7)	133 (102.3)	2,351 (92.4)
9月	468 (100.9)	499 (88.0)	450 (88.8)	516 (145.4)	83 (180.4)	2,104 (101.7)

## 中国、養豚業界で進む変革、大企業の挑戦と零細企業の淘汰が進む

中国の養豚業界では、今、業界の変革が進んでいる。中国養豚業を支えているのは、大企業、合作社、規模を拡大した養豚農家、零細養豚農家などだが、近年の豚肉価格の変動とこれに伴う厳しい経営環境に対し、特に、大企業の戦略調整と零細養豚農家の淘汰が進んでいる。中国農業農村部はこのほど、中国人民政治協商会議全国委員会の侯水生委員からの提案に回答する形で「適正規模での養豚への支援強化に関する提案について」を公表した。その主な内容は次のとおり。

①畜産物需要に対する供給量を確保する観点から、適切な規模での養豚生産を引き続き促していく。2022年において、年間の出荷頭数が500頭から5千頭までの養豚農家などは全国の総出荷頭数の31・2%を占め、豚の安定供給の主力となっている

②今後も、適切な飼養規模での養豚を行う供給連合体の設立を支援する。近年、中国農業農村部は、企業が合作社と家族農家をけん引し、大小さまざまな農家と連携して産業化連合体を形成し、最低限の買い取り保障や注文生産、利益の分配、持ち株の譲渡、これら農家による企業での優先就業などが進むことで、各主体が適切に利益を共有できる体制を構築するためすでに全国で9千に上る農業の産業化連合体が形成されており、引き続き推進する。併せて、中国農業銀行と協力し、大規模企業が核となって、飼養、と畜、加工、保管、配送、販売といった産業チェーン全体が一体的に運営・経営されることで、一

体化に参画する中小規模の養豚農家などの技術、管理レベルが引き上げられる取り組みも支援していく

③引き続き、養豚農家などへの技術指導を行うとともに、新たな技術の導入や、専門家による指導サービスを提供する。すべての省で1千人以上の農業経営補助員の育成を進め、家族経営や農業合作社への指導提供を推進する。すでに24年4月末までに、累計で、延べ3万6千人に及ぶ指導を実施したほか、毎年1万4千人に及ぶ地域の防疫と繁殖の専門家を募集し、農家への個別技術指導サービスを提供した。

この通知に対して業界関係者からは、大企業だけではなく、規模を拡大した養豚農家などもあることが、豚の生産や価格の変動リスクを分散する上で有効であり、その存在は業界全体の良好な発展に必要とし、中小規模の養豚農家などに経営継続の自信を与えると評価した。

中国では大企業の市場占有が進み、豚肉出荷量に占める中国養豚業界上位10企業の割合は、21年の15%から23年の22・5%に上昇している。この状況を踏まえ業界メディアは、大規模化、標準化、デジタル化などは養豚業の発展にとって必然的な流れであり、大企業がこれらを担う一方、中小規模の養豚農家などは特色ある豚肉の供給や循環農業、観光農業といった新たな農業モデルを模索する必要があるとしている。また、廃業した零細養豚農家は、この5年間で41%減少したが、今後もこの傾向が続くとしている。(農畜産業振興機構)

## フィード・ワンが2025年3月期第2四半期決算を発表

フィード・ワンが8日に発表した2025年3月期第2四半期連結業績は、売上高1482億9800万円(前年同期比5・3%減)、営業利益33億5500万円(18・0%増)、経常利益38億500万円(20・0%増)、親会社株主に帰属する中間純利益30億9200万円(55・4%増)で減収増益だった。セグメント別の概況は次のとおり。[畜産飼料事業]セグメント売上高は1162

億7500万円(5・2%減)、セグメント利益は49億4100万円(34・5%増)、セグメントEBITDAは61億9800万円(26・4%増)となった。畜産飼料の平均販売価格が前年同期を下回ったことで減収となった一方、販売数量の増加および収益環境の改善が進み、増益となった。

## 【輸入副生物現物相場 11月見通し】大きな動きなくもちあい 月末にかけて下値切り上げるか

輸入副生物現物相場

		単位:円/キロ、税抜き			
	商品名	原産地	規格	価格	気配
フ ロ ー ズ ン	牛タン	米国		2600~	↑
		豪州	グラス	2300~2500	↑
		欧州	グラス	2200~2400	↑
	ハンギングテンダー(サガリ)	米国	チョイス プライム	1800~	↓
		メキシコ		-	-
	アウトサイドスカート(ハラミ)	米国	チョイス プライム	2800~3000	↓
		メキシコ		-	-
	シンスカート、シックスカート	豪州	バルク	1500~	↑
		豪州		1800~	↑
	レバー	豪州		320~	
		米国		350~	→
	トライプ	-	1.5UP	-	→
		豪州	700gUP	-	→
			500gUP	-	→
	スモール	米国		500	↑
ラージ	米国		620~690	↑	
	豪州		680~700	↑	
アキレス	米国		1200	↑	
テール	豪州		1400~1600	↑	
メンブレン	豪州		600~	↑	
チ ル ド	牛タン	米国		2900~3000	↑
		豪州	グレイン	2700~3000	↑
	牛タン(ムキタン)	米国		4800~5000	↑
		豪州		-	→
	ハンギングテンダー(サガリ)	米国	チョイス	1800~2000	→
			プライム	2200~2500	→
	アウトサイドスカート(ハラミ)	米国	チョイス	3200~3300	↓
プライム			3600~	-	
	メキシコ		-	→	

需要の端境期ではあるが、気候的には年間で最も過ごしやすい気温であり、週末などは各地でフェスやイベント・催事が多く行われている。BBQ需要などもそれなりに活況であるようだ。また、現地在庫はやや緩んでいるが、米国大統領選が終わったあとも為替レートは1ドル150円台前半から半ば前後の円安基調で推移していることから、大きな下げはなくもちあい基調。そのため、アウトサイドスカートなどの焼き材は「売りづらい」という声も。

一方、タンは量販店などがスライス材をタンしゃぶとして提案するところも増えており、強含み。白物は季節需要もあり、徐々に下値を切り上げている。また、野菜高騰で鍋物需要には逆風の環境下だが、その分、アキレスやメンブレンなどは引き合いが強い。年末にかけて引き続き堅調な動きが見込まれる。

## セイコーエプソン、深度カメラを用いた「牛の体型指標評価システム」開発

セイコーエプソン(株)(長野県諏訪市、小川恭範社長)はこのほど、長野県との共同技術研究で、牛の個体識別およびBCS(ボディーコンディションスコア)の測定を自動で行う、「牛の体型指標評価システム」を開発した。

BCSとは牛の過肥具合をスコア1(削瘦)~5(過肥)でスコア化する評価方法。正常値から外れた牛は疾病や生産性低下を起しやすくとされており、牛の栄養状態や繁殖能力の評価において有用な指標値とされている。しかし、BCSの判定は経験と技術を有する専門の判定員の目視で行われるため、定期的

な判定やその活用に課題があり、簡易化と判定結果を活用できるシステムの実現が求められていた。

同システムは、深度カメラを牛の通路に設置することで、自動的に日々の変化をBCSデータとして記録し、健康状態を継続的に追跡することができる。同社と長野県畜産試験場は、試験場および民間牧場で2年にわたり検証を行い、AI活用による自動測定の評価内容が、精度を含む技術品質において専門測定員による判定と同水準にあることを確認した。今後、長野県内外でも実証実験を重ねることで、データの蓄積ならびにシステムの改善を進めていくとしている。

[資料] 日本食肉流通センター週間市況 〈和牛・交雑牛・乳牛チルド〉

(令和6年10月27日～11月2日)

(単位：キロ当たり円、税込み、重量kg)

		第1四分位値	重量中央値	第3四分位値	刈込み 平均値	取引重量		第1四分位値	重量中央値	第3四分位値	刈込み 平均値	取引重量	
		和牛チルド「4等級」	首都圏	カタロース	3,335	3,704		4,320	3,772	3,169		3,672	3,780
カタ	3,213			3,404	3,470	3,362	8,496		3,456	3,789	3,789	3,713	6,696
カタバラ	2,160			3,240	4,114	3,155	1,386		2,143	2,215	3,024	2,388	1,281
マエセット	-			-	-	-	364		-	-	-	-	-
ヒレ	-			-	-	-	990		7,560	9,180	9,720	9,135	1,911
ロイン	5,886			7,020	8,792	7,151	1,276		5,234	5,332	5,940	5,392	3,062
ロインセット	-			-	-	-	688		-	-	-	-	-
トモバラ	2,160			2,376	2,965	2,448	8,497		1,782	2,206	3,221	2,414	8,426
ウチモモ	4,100			4,336	4,428	4,303	1,166		3,361	3,486	4,104	3,684	1,631
シンタマ	3,717			3,996	4,320	4,047	1,916		3,727	4,104	4,158	3,999	1,079
ランイチ	3,672			4,104	4,407	4,113	1,997		3,846	4,104	4,158	4,028	1,187
ソトモモ	3,240			3,454	3,978	3,466	1,718		3,457	3,597	3,597	3,572	1,056
スネ	1,839			1,998	2,322	2,019	2,080		1,935	2,050	2,160	2,051	3,069
モモセット	3,942			4,301	4,344	4,244	6,893		3,240	3,564	3,834	3,578	11,532
セット	3,295	3,698	4,589	3,842	23,077		3,240	3,263	3,785	3,423	7,128		
合計					63,713							62,326	
和牛チルド「4等級」	中京圏	カタロース	-	-	-	-	669		-	-	-	-	806
		カタ	2,970	3,240	3,564	3,194	1,356		-	-	-	-	953
		カタバラ	2,484	2,624	2,808	2,633	1,003		-	-	-	-	378
		ヒレ	-	-	-	-	352		-	-	-	-	281
		ロイン	-	-	-	-	359		-	-	-	-	373
		トモバラ	1,836	2,052	2,276	2,129	1,035		2,160	3,672	4,126	3,403	1,426
		ウチモモ	-	-	-	-	-		-	-	-	-	374
		シンタマ	-	-	-	-	-		-	-	-	-	850
		ランイチ	-	-	-	-	-		-	-	-	-	402
		ソトモモ	-	-	-	-	-		-	-	-	-	595
		スネ	-	-	-	-	-		-	-	-	-	734
		モモセット	-	-	-	-	796		-	-	-	-	-
		セット	3,739	3,739	4,255	3,852	1,234		3,828	3,965	3,996	3,950	6,213
		重量合計					6,804						

(令和6年10月27日～11月2日)

交雑牛チルド「3等級」	首都圏	カタロース	2,823	3,024	3,526	3,097	8,717		2,808	2,916	3,186	2,951	13,727
		カタ	2,106	2,484	2,808	2,446	8,628		2,264	2,468	2,592	2,436	10,334
		カタバラ	2,298	2,552	3,076	2,578	1,887		1,436	1,512	1,710	1,541	3,896
		マエセット	5,807	6,156	6,481	6,167	3,388		6,264	6,585	6,804	6,528	3,609
		ヒレ	4,438	4,644	5,356	4,871	2,663		4,171	4,277	4,501	4,342	7,550
		ロイン	1,566	2,484	2,918	2,307	10,287		1,512	1,601	2,232	1,696	10,970
		トモバラ	2,160	2,430	2,486	2,392	3,319		2,376	2,484	2,700	2,462	5,011
		ウチモモ	2,376	2,543	2,808	2,561	2,906		2,430	2,592	2,700	2,570	4,871
		シンタマ	2,333	2,759	3,191	2,736	1,906		2,430	2,516	2,678	2,535	5,069
		ランイチ	2,052	2,098	2,268	2,124	2,002		2,160	2,268	2,457	2,271	5,628
		ソトモモ	1,458	1,544	1,760	1,565	3,001		1,404	1,512	1,629	1,531	6,391
		スネ	-	-	-	-	-		2,519	2,700	2,873	2,744	6,977
		モモセット	2,601	2,727	3,160	2,809	31,895		2,970	3,114	3,240	3,095	47,239
		セット					80,599						
合計					78,968							40,874	
乳牛チルド「3等級」	首都圏	カタロース	2,592	2,870	3,030	2,876	4,533		2,225	2,338	2,821	2,386	13,807
		カタ	-	-	-	-	840		1,582	1,782	1,886	1,753	6,663
		カタバラ	-	-	-	-	56		-	-	-	-	-
		三角バラ	-	-	-	-	-		2,391	2,754	3,456	2,907	1,093
		ブリスケット	-	-	-	-	-		1,150	1,242	1,274	1,209	3,301
		ヒレ	4,968	5,076	5,399	5,093	1,736		4,860	5,670	5,940	5,548	3,533
		ロイン	3,042	3,294	3,526	3,292	1,539		3,078	3,240	3,688	3,302	6,276
		トモバラ	1,220	1,242	2,697	1,834	4,316		1,166	1,385	1,823	1,439	6,626
		ウチモモ	1,944	2,106	2,160	2,062	1,991		1,836	1,922	2,160	1,934	8,434
		シンタマ	1,917	1,944	2,160	1,995	1,840		1,728	1,836	2,009	1,841	2,751
		ランイチ	1,836	2,160	2,376	2,196	1,524		1,620	1,836	1,944	1,815	4,942
		ソトモモ	-	-	-	-	804		1,836	1,836	1,944	1,853	2,899
		スネ	1,469	1,495	1,512	1,493	2,219		1,404	1,512	1,998	1,554	6,643
		セット	2,400	2,429	2,484	2,419	7,278		1,620	1,967	1,979	1,888	30,736
重量合計					28,676							97,704	

# 東京・大阪枝肉相場、全国と畜頭数

[東京食肉卸売市場]

枝肉卸売価格(瑕疵除く)(頭、1kg当たり円、税込み)

◇牛生体			5	4	3	2	1
和牛	雌 A	高値	21,655	4,321	4,336	-	-
		安値	2,203	2,237	2,041	-	-
		平均	3,408	2,545	3,094	-	-
	199頭	頭数	166	28	5	-	-
	雌 B	高値	-	-	-	-	-
		安値	-	-	-	-	-
		平均	-	2,098	2,039	-	-
	2頭	頭数	-	1	1	-	-
	去 A	高値	3,533	2,643	2,202	-	-
		安値	2,332	2,152	2,183	-	-
平均		2,593	2,355	2,193	-	-	
83頭	頭数	65	16	2	-	-	
去 B	高値	-	-	-	-	-	
	安値	-	-	-	-	-	
	平均	-	-	-	-	-	
-頭	頭数	-	-	-	-	-	
乳牛	雌 B	-頭	平均	-	-	-	-
	雌 C	-頭	平均	-	-	-	-
	去 B	-頭	平均	-	-	-	-
	去 C	-頭	平均	-	-	-	-
交雑牛	雌 B	34頭	平均	-	1,667	1,600	1,495
		頭数	-	7	21	6	
	雌 C	2頭	平均	-	-	1,497	-
		頭数	-	-	-	2	-
去 B	7頭	平均	1,761	1,566	1,548	-	
	頭数	1	1	5	-		
去 C	2頭	平均	-	-	1,446	1,291	
	頭数	-	-	-	1	1	

	牛	豚	搬入牛	搬入豚	その他
と畜	430	1,085	-	(競り)	(相対)
売買	400	997	181.0	-	11
				-	47

◇牛搬入			5	4	3	2	1
和雌 A	高値	2,680	1,907	1,702	1,277	-	-
	安値	-	1,574	1,637	1,332	-	-
和去 A	高値	2,698	2,339	2,100	-	-	-
	安値	2,220	-	-	-	-	-
乳雌 B	平均	-	-	-	-	-	861
	平均	-	-	-	-	-	837
乳去 B	平均	-	-	-	-	-	-
	平均	-	-	-	-	-	1,021
交雌 B	平均	-	1,636	1,584	1,191	-	-
	平均	-	-	-	-	-	-
交去 B	頭数	-	1,664	1,571	1,450	-	-
	平均	-	-	-	-	-	-

◇豚		[極上]	[上]	[中]	[並]	[等外]
生体	高値	608	598	918	864	886
	安値	552	529	518	475	356
	平均	578	547	546	559	509
	頭数	( 9)	(420)	(338)	( 78)	(152)
搬入競り	高値	-	-	-	-	-
	安値	-	-	-	-	-
	平均	-	-	-	-	-
	頭数	( -)	( -)	( -)	( -)	( -)
相対	高値	-	-	634	612	526
	安値	-	-	623	591	515
	平均	-	-	628	605	520
	頭数	( -)	( -)	( 2)	( 6)	( 3)

[大阪食肉卸売市場]

11月11日

枝肉卸売価格(生体)(1kg当たり円、税込み) [ ]は豚規格

	5[極上]	4[上]	3[中]	2[並]	1[等外]
和雌 A	2,427	2,073	-	-	-
(頭数)	( 6)	( 4)	( -)	( -)	( -)
B	-	-	-	-	-
(頭数)	( -)	( -)	( -)	( 1)	( -)
和去 A	2,398	2,107	-	-	-
(頭数)	( 6)	( 4)	( -)	( -)	( -)
B	-	-	-	-	-
(頭数)	( -)	( -)	( -)	( -)	( -)
乳去 B	-	-	-	-	-
交雑雌 B	-	-	-	-	-
C	-	1,567	-	-	-
交雑去 B	-	1,781	1,639	1,590	-
C	-	1,631	1,550	1,501	-
豚	733	599	525	462	467

[全国と畜概算頭数]

農水省統計部発表(頭)

	11月11日	11月8日	(11月累計)
豚	68,200	69,900	414,800
成牛計	5,130	4,690	29,230
和牛雌	1,250	1,210	7,410
和牛去勢	1,510	990	7,670
乳牛雌	430	960	4,410
乳牛去勢	490	370	2,910
交雑雌	600	600	3,160
交雑去	830	550	3,620

[去勢牛B3・2規格 枝肉取引価格] 11月11日

	東京	大阪
1,529円(前日 1,557円)	1,630円(前日 1,648円)	

[豚・全農建値] 11月11日

上	中	取引頭数	市況
563円	548円	924頭	急落

と畜	牛	豚	牛概況	続伸
売買	109頭	109頭	豚概況	反発
	60頭	153頭		

# 各地の豚枝肉、豚部分肉、食鳥相場

[主要市場豚枝肉卸売価格] 11月11日 (1kg当たり円、税込み)

	上加重 (前日)	中加重 (前日)	と畜	上場	市況
北海道 [セ]	626 (626)	- (-)	6,267	-	もちあい
仙台 [中]	582 (629)	538 (582)	367	124	急反落
宇都宮 [地]	567 (619)	545 (604)	1,755	149	続落
茨城 [地]	570 (623)	561 (595)	1,384	678	反落
群馬 [地]	543 (533)	472 (452)	2,239	525	小反発
さいたま [中]	557 (579)	546 (572)	172	173	続落
東京 [中]	547 (547)	546 (541)	1,085	997	もちあい
横浜 [中]	587 (620)	553 (572)	659	646	続落
山梨 [地]	- (-)	- (-)	117	59	休市
浜松 [地]	556 (577)	491 (515)	299	36	続落
名古屋 [中]	597 (625)	559 (579)	950	292	急落
京都 [中]	610 (623)	579 (593)	104	72	もちあい
大阪 [中]	599 (563)	525 (499)	109	153	反発
神戸 [中]	- (605)	- (594)	154	-	-
岡山 [地]	668 (654)	681 (648)	295	333	強気配
広島 [中]	588 (606)	547 (571)	290	39	下落
福岡 [中]	589 (594)	574 (571)	472	116	続落

注：北海道はホクレン大卸売価格で、前日の全道と畜頭数。「前日」の京都は9日、その他は8日

[日本食肉流通センター] 11月4日～11月10日  
豚カット肉 [I] (1kg当たり円、税込み、重量kg)

[食鳥正肉日経相場] 11月8日  
荷受売値平均値 (kg当たり円、税抜き)

◇首都圏 総重量 1,499,254 kg

◇東京 (7社) ※木曜日は休載

	第1四分位値	重量中央値	第3四分位値	刈込み平均値	取引重量
肩ロース	1,145	1,231	1,296	1,224	67,348
うで	734	810	839	800	118,511
ロース	1,080	1,130	1,244	1,142	156,970
ばら	1,182	1,296	1,382	1,283	135,298
もも	750	799	824	791	165,420
ヒレ	1,105	1,123	1,257	1,152	14,979
セット	962	1,021	1,076	1,020	840,728

	安値	加重平均	高値	販売量 (t)
モモ	640	683	795	188
ムネ	357	393	495	147

◇大阪 (3社)

	安値	加重平均	高値	販売量 (t)
モモ	649	712	990	10
ムネ	364	418	550	7

◇近畿圏 総重量 686,877 kg

	第1四分位値	重量中央値	第3四分位値	刈込み平均値	取引重量
肩ロース	1,166	1,272	1,319	1,266	54,030
うで	680	740	797	738	106,956
ロース	1,069	1,166	1,245	1,164	97,138
ばら	1,241	1,275	1,360	1,282	124,350
もも	702	740	788	740	154,131
ヒレ	1,188	1,285	1,339	1,274	10,448
セット	896	962	1,064	980	139,824

[農水省統計情報部食鳥市況] 11月8日  
kg当たり円、税抜き

	モモ肉	ムネ肉	手羽モ	手羽サ	ササミ
高値	935	550	600	650	650
安値	658	290	360	350	350
平均	697				

※日本食肉流通センター：①数値はすべて記載日中間中（1週間分）に収集した累積データをもとに算定しており、直近1週間の状況を示している。②重量ベースでみた価格の分布。代表値は「重量中央値」であり、参考値として「第1四分位値」「第3四分位値」「刈込み平均値」を算定。③収集した取引価格データ（単価・重量）を単価の低いものから順に並べ替えた上で取引重量を累積し、総取引重量のちょうど50%に位置する単価を「重量中央値」。最低価格から順に累積したデータを4等分し、最初の境界に位置する単価を「第1四分位値」3番目の境界に位置する単価を「第3四分位値」という。「刈込み平均値」は、第1四分位と第3四分位の間の重量ベースの平均値（加重平均値）。

食肉に関する**最新**のニュースを、どこよりも**早く**お届け!

# 日刊食肉速報

## 2024年11月、リニューアル!

A4版にリニューアルして更に見やすくなりました。

また、紙媒体だけでなく、新設されたWEBページでいつでも手軽に情報チェックが可能に。

食肉関連の行政、業界の動向をはじめ、国産と輸入の相場市況、企業情報など、これからも鮮度の高い日々の業界ニュースをお届けいたします。

**紙媒体**

A4版に  
サイズUP!



**WEB  
サービス版**

手軽に情報チェック!  
バックナンバーも  
探しやすい!



購読料は  
そのまま!



仕様 | 11ページ  
(表紙)カラー(中面)モノクロ  
発行 | 月曜から金曜(祝祭日を除く)  
購読料 | 1カ年 82,080円(税・送料込)  
6カ月 42,120円(税・送料込)

\*写真はイメージです。

## 広告スポンサー募集

### 日刊だからこそ、効率的なタイミングでPR!

業界紙として70年の歴史をもつ信頼性の高い本紙にて、広告を出しませんか?  
広告サイズは幅広く対応可能です。ぜひ、貴社のビジネスにお役立てください。

イベント情報など  
スポット告知に最適

ターゲットを絞った  
訴求力の高さ

70年の歴史をもつ  
信頼性の高い業界紙

● 購読・広告掲載に関するお問い合わせ ●

東京支社 ☎03-3663-2011 ✉mail@shokuniku.co.jp

株式会社 食肉通信社